

お父さんも子育ての主役です！

家庭教育支援総合推進事業

朝早く家を出て、夜遅く帰宅するお父さんたち。「仕事が忙しい」「疲れて子どもの相手はできない」などの理由から、子育てに参加する機会が少ないお父さんに、「父親が子育て参加することの重要性について考えてもらおう」と「父親の子育て参加促進事業」が開催されました。今回は、東京都地域家庭教育推進協議会が、「都国公立幼稚園PTA連絡協議会・都国公立幼稚園長会」および「株式会社ニチレイ」と協力して開催した、ふたつの事業を御紹介します。

■ 出番です

お父さん 一緒に子育て語ろうよ

11月20日、江戸川区立小松川小学校・幼稚園で、「お父さん一緒に子育て語ろうよ」と題する子育て研修会が開催されました。

主催は、東京都公立幼稚園PTA連絡協議会・東京都公立幼稚園長会・東京都地域家庭教育推進協議会の3者で、午前中は、親子で遊ぶ「遊び広場」が校庭を利用して行われ、牛乳のふた飛ばし・紙飛行機づくり・木工細工等さまざまなコーナーが設けられ、たくさんの親子がゲームを楽しんでいました。

午後の研修会は、体育館に場所を移し、3人の提案者が、それぞれの立場から意見を述べました。

近藤幹郎さん（江戸川区）は、「子育てにまったくかかわっていなかったが、園の行事に参加したことで、他の親と触れ合うことの楽しさを知り、PTAの会長を引き受けることになった」。

野上真一郎さん（中野区）は、「園の行事に参加したことで、『お父さんの会』のメンバーになった。子どものフィールドに踏み込むと、意外と楽しい」。

渡辺克子さん（大田区）は、この研修会のために、他の母親から集めてきた意見を発表し、「お父さんも補助役ではなく、子育ての主役になってほしい」等々の提案が出されました。

提案を受けて、参加者が話し合う「座・コミュニケーション」では、仕事で疲れているお父さんが、園の行事や子育てに目を向けるようになるためには、どうしたらよいかということに議論が集中していました。

講師の植松紀子先生（こどもの城臨床心理士）は、「30年前と比べると、父親は、優しくなっており、子どもとよく遊んでいる」としながらも、「子どもが思春期に入ると反社会的な行動をとることがあるが、普段家にいない父親は何も言えない」「家庭は小さな社会、自分がどのように社会に貢献していくのかということ、

父親が広い視野から伝えていく必要がある」と父親の子育て参加の必要性を強調し、「子どもの動きをよく見て、楽しそうと思ったら一緒にやってみること」だと助言されました。（植松先生へのインタビューは5ページに掲載）



座・コミュニケーション



お父さんと一緒に木工細工

～」が開催されました。

この事業は、行政等が主催する講座への参加が難しい父親層を対象に、行政と企業が協力して開催するモデル的な事業として、就業時間中の午後3時から5時30分に開催されました。

ニチレイ大戸会長をはじめニチレイ社員（31名）・他企業・行政関係から約40名の参加がありました。

今回は、シンポジウム形式で行われ、コーディネ

ーターの松田茂樹さん（第一生命経済研究所）は、父親の家事・育児にかかわる時間が、イギリス・アメリカ・ドイツ等が2時間前後なのに対し、日本は0.4時間と少ないことや父親の育児参加の時間が多くなるにつれ、母親の育児不安度が減少しているなど、具体的な統計資料を提示するとともに、企業が「仕事と家庭の両立を支援する」メリットなどについても触れ、「仕事で忙しいでしょうが、8時までに帰宅するように努力してみましょう。それを過ぎると食・遊・お風呂が終わってしまう」と問題提起されました。

シンポジストの安藤哲也さん（パパ'S絵本プロジェクト）は、「子どもができれば、気持ちの中でOS（コンピューターの基本ソフト）を切り替える必要がある」「子育てがうまくできる人は、仕事もできる人。タイムマネジメントができてから」「父親も『子育てする権利』を獲得してほしい」と御自身の子育てのエピソードも交えてお話されました。

（パパ'S絵本プロジェクトについては、4ページにレポートを掲載）

森ようこさん（NPO日野子育てパートナーの会理事長）は、「大雨の日に、ずぶぬれになりながらも、出かけてこられた親子にお話を

聞くと、『家で、親子ふたりきりでいると不安になってしまう。ここに来ると安心できる』ということでした。それだけ母親は不安を抱えながら子育てしているんです」「逆に、ゆったり構えているお母さんと話すと、お父さんが積極的に子育てに参加してくれて、夫婦でよく話をしながら子どもの成長を見守っているとのことでした」と事例をあげながら、お父さんが子育てに参加することにより、お母さんの精神的・肉体的負担が、まったく違ってくることをお話していただきました。

参加感想文では、「このような集いを平日の就業時間中、かつ企業内で開催することで参加がとてもしやすい。会社側のバックアップも重要」「妻への“気づかい”も大切なことだと痛感しました」「8時に帰って子育てを楽しめます」等々が寄せられていました。



問題提起



就業時間内の研修会

大切にしよう！こんなに楽しい子育ての時間

11月24日（木）に、ニチレイ本社において「父親の家庭教育参加を考えるつどい～大切にしよう！こんなに楽しい子育ての時間